

令和4年度の教育活動等に対する学校評価書

令和5年5月30日

学校法人春日学園春日こども園 園長 脇本和義

- こども園の教育目標
 - ・丈夫な子どもを育成する
 - ・健全な精神を育成する
 - ・情操豊かな子どもを育成する
 - ・自主自立の精神を育成する
 - ・社会性のある子どもを育成する
- 本年度の重点目標（学校評価の具体的な目標や計画）
 - ・主体性を育む実践の成果が客観的に評価できるように推進する。
- 自己評価結果とそれに対する**学校関係者評価結果
 （※評価点は、A（十分に成果があった）・B（成果があった）・C（少し成果があった）、D（成果がなかった）で表す。）

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価点	園としての反省と改善策	評価点	意見
楽しい保育	・園は、環境設定を工夫し主体性を育てる保育を実践している。 ・園は、全身を使って遊ぶ保育を実践し体力の向上を図っている。 ・園は、子どもが安心して過ごせる様に人間関係づくりに力を入れている。	A	・研修主題を「製作活動を通して主体性を育む」とし、日常的に自ら遊びを創り出す保育を心がけた。 ・全職員が全ての園児の顔と名前を覚えて名前呼びかけすることで、園児に安心感を与えてきた。	A	・園を公開する機会を増やし、取り組みの様子を見もらうことで、さらに理解が得られる。 ・子どもたちの安心と安定した状態が笑顔に表われている。
子どもの理解	・園は、園児の様子を家庭とのきめ細やかな連絡で把握している。 ・園は、園児に対して健康で安全な生活を指導し、実践させている。 ・園は、子ども一人ひとりに目を向け、個に応じた手立てを講じている。	B	・保育を安全面から見直すため、終礼で情報交換を確実にを行い共通理解を図る取り組みを継続している。 ・個別の指導計画を作成するなどして、特別支援の考え方を基本に保護者と連携して保育を推進	A	・安全計画や非常時の対応マニュアルを定期的に見直すとい。 ・子どもの良さや課題を保護者と共有したい。「子どもの可能性は無限」と考え、指導の工夫を続けてほしい。
開かれた保育	・園は、他の教育機関や地域住民との間で情報を共有する努力をしている。 ・園は、行事などの取り組みを家庭や地域に積極的に公開している。 ・園は、園だより・掲示・ホームページなどで情報を発信している。	B	・保護者・地域住民に情報提供は実施してきたが、コロナ渦で来園できる機会が激減して情報の共有までは難しかった。 ・ホームページは、ブログをほぼ毎日更新することが出来た。	B	・発達に課題のある園児等は関係機関との連携を更に続けて欲しい。 ・ホームページが常に更新されている。さらに園外の掲示板にも情報が提供されており、楽しみにしている。